

KiPro GO2 簡易セットアップガイド

2026年2月17日
株式会社フォトロン
映像システム事業本部
ディストリビューションPJ

本マニュアルは初めてKiProGO2の取扱いを行う事を想定し作成しています。
取扱い前にご確認の上、ご準備をお願いいたします。

機能概要

HD-SDIをH.264/H.265で収録するレコーダーで、1chの簡易再生機能も備えています。

同梱物

KiPro GO2貸出機セットには、以下が同梱されています。

- KiPro GO2 本体x 1
- 電源ケーブル x 1本
- 本セットアップガイド

《ご留意点》

以下URLに掲載されている評価済メディアのご用意をお願い致します。

<https://www.aja.com/products/ki-pro-go#support>

AJA_Ki_Pro_GO_Series_Approved_Media_Guide_

フォーマット方法

exFATを奨励します (FAT32,FAT16のファイルサイズの制限を考慮)

以下に各Menuについてよくあるご質問・ルールをまとめています。

①Config

Encode Channels (Single Channel / Multi Channel)

収録チャネルと再生チャネル数について

Q.収録、Playbackともに4チャネルですか？

A.収録は最大4チャネルを、再生チャネルは1ファイルのみの再生をサポートします。

収録と再生

Q.収録と同時に再生は可能でしょうか？

A.収録もしくは再生は可能ですが、収録と再生を同時に行なう事はできません。

マルチチャネル収録モードについて

Q.異なるフレームレートの収録は可能ですか？

A.非サポートです。全チャネル同じフレームレートである必要があります。

Q. ゲンロックは必要でしょうか？

A. 不要です。（KiPro GO2は内部FSが実装されているため）その為、非同期信号の収録も可能です。

収録時の入力チャンネル

連続している必要があります。

例) ○ 1チャンネルと2チャンネルでの同時収録

× 1チャンネルと3チャンネルでの同時収録

3G収録のご留意点

全チャンネルの“Level”を合わせて下さい（Level A / Level B）

■Media

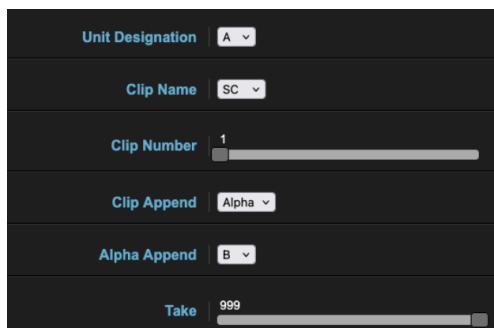
Q. 外部メディアへの収録は可能ですか？

A. PAKメディアへの収録のみをサポートします。高帯域と安定性を考慮し、PAKメディアが必須です。（ご参考情報：高ビットレートファイルの場合、4Gb/s～となります）

《ご留意点》 クリップ名

999以上のインクリメントには対応していません。（クリップの上書きも行なわれません）

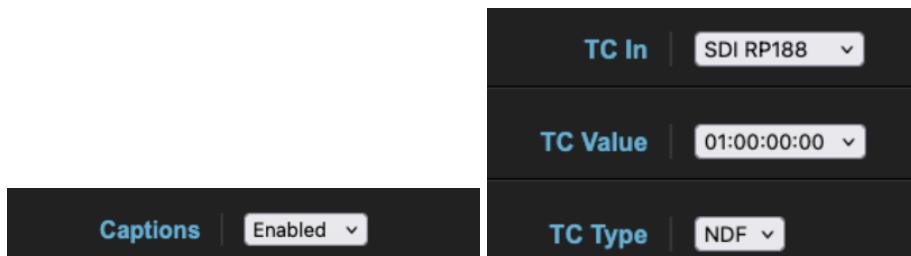
回避策：クリップ名の変更をお願いします。その際、Takeも1ヘリセットされます。



キャプション

キャプションデータのみが収録されます。デフォルトは「有効」です。

タイムコードソースとして選択されている場合、エンベデッドタイムコードが使用されます
SCTE-104トリガーなど、他の種類のANCは破棄されます



■Network

- ・必要に応じKiPro本体とPCをLAN配線する事で設定及び操作を行なう事も可能です。
- ・Ki Pro GO2は外部制御用にREST APIに対応しています。

KiPro GO2のIPアドレスに `/rest.tpl` を追加するとアクセスが可能です

例 <http://192.168.0.177/rest.tpl>

なお、API ドキュメントは以下に公開されています。https://gitlab.aja.com/pub/rest_api

■その他

想定よりも早く収録が停止してしまうケース

収録を正しく行なう設定があるため、以下理由で収録が想定よりも早く停止することがあります。

- 映像信号の途切れ

録画を停止する、または停止しないように設定が可能です。

- 「TC/REC Key」が有効になっている場合

タイムコードの中断により録画が停止することがあります。

- タイムコードが変化するのを待って収録を開始します。

タイムコードが停止すると、収録も停止します。

- メディア容量

残り 10%になると、収録が停止します。

プレイリスト

・選択した複数クリップの連続再生が必要な際、プレイリストの設定が可能です。

・アクティブになっているコーデックを使用しているクリップ

をプレイリストの一部にできます。互換性のないクリップは黄色で表示されます。

《ご留意点》 H.264 ファイルの互換性

Ki Pro で使用可能なファイルについて

Ki Pro GO2 は、一般的なサードパーティ製アプリケーションで作成された H.264 ファイルの再生が可能です。この機能は、以下のアプリケーションでテストされています。

• DaVinci Resolve

• Final Cut Pro X

• Avid Media Composer

• Adobe Premiere

• VLC (Windows)

• VLC (Macintosh)

* VLC ファイルの拡張子は「MV4」から「mp4」に変更する必要があります。

その他アプリケーションでも Ki Pro GO2 で再生できるファイルを生成できる場合がありますが、AJA は上記のアプリケーションでのみテストしています。他のアプリケーションで作成されたメディアファイルの再生は本日現在、保証されていません。

* KiPro Go マニュアルより抜粋

《制限事項》 クワッドリンクの素材を再生

・再生時、シングルリンク SDI / マルチリンク SDI のどちらを使用するか設定します。

・シングルリンクモードを使用する場合、全出力に再生信号の完全なコピーが含まれます。

・マルチリンクモードを使用する場合、最初の出力にのみ音声/ANC が含まれます。

例) Square Division UHD の場合、SDI 1 が音声+ANC を含む完全な 1080p 信号となります



初期設定及びファームアップデート

1. 現在の設定のプリセットを保存します
2. プリセットメニュー中の「Factory Settings」のResetをクリックします。
3. セーフブートモードで起動します
 1. Ki Pro の電源を切ります
 2. ユニットの電源を入れる際に Status ボタンを押したまま、セーフブートに入ります
4. 最新のファームウェアをダウンロード、アップデートを実行します
(同じバージョンであっても同様の手順を踏みます)
5. 必要に応じてデバイスの再設定を行ないます

プリセットを復元し問題が再発する場合は、手順 2 と 5 を繰り返して再設定します。

■問い合わせ先

本マニュアルについてご不明な点は以下サポートポータルにてお問い合わせ下さい。
aja@photon.co.jp

改定履歴

| | |
|------------|---------------------|
| 2025年12月4日 | h.264ファイルアプリケーション追加 |
| 2026年2月17日 | 問い合わせ先を更新 |
| | |